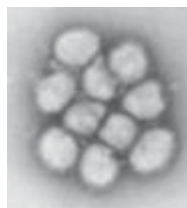


流行時に知っておきたい 新型インフルエンザの知識

これから冬にかけて流行が拡大する可能性があります!!



新型インフルエンザの病原体は、今のところ通常の季節性のインフルエンザと同程度であると考えられており、過剰な心配は不要です。しかし、基礎疾患などで免疫力が低下している人は重症化する恐れがあること、今後ウイルスの変異により病原性が増す可能性があることなどから、今後も新型インフルエンザに対する対策をしっかり継続していく必要があります。



新型インフルエンザウイルス
(A/H1N1)の
電子顕微鏡写真

(国立感染症研究所)

新型インフルエンザウイルスとは?

豚インフルエンザウイルス、鳥インフルエンザウイルス、ヒトインフルエンザウイルスの遺伝子が混ざり合い、ヒトの間で流行するようになった、新しいウイルスです。

1. 新型インフルエンザ(A/H1N1)特徴

- ① **症 状**：突然の高熱(多くは38度以上)、咳、咽頭痛、鼻汁、頭痛、関節痛、筋肉痛、下痢などです。多くの患者は軽症で、数日で熱が下がり1週間ほどで治りますが、基礎疾患など※をお持ちの方の場合は重症化することがあり、注意が必要です。
- ② **潜伏期間**：(ウイルスに感染してから症状が出現するまでの期間) およそ2～6日間。
- ③ **感染経路**：季節性インフルエンザと同様、飛沫感染あるいは接触感染によりうつります。
飛沫感染…感染した人の咳・くしゃみのしぶき(飛沫)を吸い込んで感染する(飛沫は1～2m飛びます)
接触感染…ウイルスの付着したものを触った手で口・鼻の粘膜や目の結膜に触れることで感染する
- ④ **治 療**：通常は自然治癒しますが、抗インフルエンザ薬(「タミフル」など)を使うと早く治ります。
- ⑤ **予 防**：季節性インフルエンザと同様、ワクチンの効果が期待されています。現在、WHO・厚生労働省等の主導により、ワクチンの開発・製造が進められています。

※基礎疾患などをお持ちで、重症化することがある方

- 慢性呼吸器疾患(肺気腫や気管支喘息等)、慢性心疾患、糖尿病などの代謝性疾患、腎機能障害(人工透析中)、免疫機能不全(ステロイド全身投与等)などの持病のある方
- 妊婦、乳幼児、高齢者

2. インフルエンザに感染しないために

☆うがい・手洗い・マスク

マスクの着用及び咳エチケット(※)、手洗い、うがいをしましょう。人混みや繁華街、流行地への外出を控えることも大切です。

マスク

- ◎熱、咳、くしゃみ等の症状のある人には、必ずマスクをつけてもらいましょう。またこのような症状の人と接する時にはマスクをつけましょう。
- ◎咳やくしゃみを押さえた手、鼻をかんだ手はすぐ洗ってください。
- ◎不織布製マスクを着用する。
(マスクだけでは感染は完全に防げないことに注意!!)